

青森県生協連平和学習会開催報告

1. 日時 2023年12月22日(金) ①13:00~14:00 ②17:30~18:30
2. 場所 ①生協コープあおもり本部集会室 ②青森保健生協本部会議室
ハイブリッド視聴会場 (コープあおもり五所川原事務所・和徳店)
3. 参加 52名
コープあおもり (32名) 青森保健生協 (7名) 青森県民生協 (2名) 津軽保健生協 (2名)
県生協連・他 (8名) 講師 (1名)
4. 開催案内

平和、いのち、くらしを壊し市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する署名(軍拡反対署名)に取り組みましょう。

12月22日(金)

平和学習会

① 13:00~14:00

コープあおもり本部集会室

青森市柳川2-4-22

☎017-766-1521

ミーティング ID: 841 7413 9708

パスコード: 344088

② 17:30~18:30

青森保健生協本部会議室

青森市東大野2-9-2

☎017-762-5888

ミーティング ID: 872 7419 4914

パスコード: 463505

プロフィール

岩手県生活協同組合連合会専務理事、
岩手県消費者団体連絡協議会常任幹事
弘前大学人文学部卒、朋寮で4年間過ごし3年先輩に現在衆議院議員の高橋千鶴子さんが・・・。
84年みやぎ生協の就職説明会で生協の理念を聞き感銘を受けて入協を希望。その後91年にいわて生協へ移り、主に組合員活動の部署で食の安全や平和など消費者運動を担当。2010年から現職へ。
岩手雫石町在住。



講師

岩手県生活協同組合連合会

専務理事

吉田 敏恵 氏

よしだ としえ



戦争の準備ではなく、平和の準備を
いのちとくらしを壊す大軍拡と安保三文書



主催 青森県生活協同組合連合会

☎017-766-1521

5. 吉田氏講演概要

1. 今、戦争の準備はどこまで進んでしまったのか。

(1) 「集団的自衛権の行使」を認めた「平和安全法制」(2015年)が大きな転換点

- ・第2次安倍政権の2014年に、集団的自衛権や海外派兵を禁止するとしてきた政府解釈の変更を閣議決定し、2015年「集団的自衛権行使を認める**平和安全法制**(安保法制・戦争法)」を成立。戦争をする自衛隊を合憲にするための改憲をしようとしたが、改憲反対の声の前に2020年安倍氏退陣。

(2) 何故軍拡は進むのか。

- ・アメリカの世界戦略が一極覇権状態における**対テロ戦争**から、**対中国覇権主義対決**に路線を変更し、日本と一緒に戦う事を強く要求。岸田政権はアメリカの言いなり。国民も日本が攻められるかのような恐怖を煽る宣伝で、軍備増強はいらぬと言えない遠慮・萎縮

(3) 安保3文書で何が決められたのか。(2022年12月閣議決定：戦争する国に近づけた)

安保3文書の中身の具体的な問題

- ◆**敵基地攻撃能力保有**を明記。日本が武力攻撃をなくとも、相手が「着手した」と判断すれば、他国への武力行使が可能であり、日本が先制攻撃をする側になる危険性が大きい。
- ◆米軍製の**長距離巡航ミサイル・トマホーク**(1600キロ先を攻撃できるため、攻撃の第一撃、戦争の火ぶたを切る兵器として使用されてきた)の導入。(500機購入)国産の開発に5兆円規模予定。
- ◆**軍事費5年間で43兆円(GDP1%枠から上限を一気に2%へ)** 増税の他、復興特別所得税(所得税に2.1%上乗せの1%分約2千億円)までが軍事費に回される。27年度計画11兆円は世界3位。
- ◆**武器輸出拡大と産官学での軍事研究促進。港湾、空港などインフラの軍事利用促進。**

- ・平和安全法制の強行で、法的に集団的自衛権による海外での武力行使を可能になり、安保3文書で、実践的な根拠(自衛隊の能力強化、軍事費増加)を与えた。

2. 改憲議論の状況。国民投票を実施して大丈夫か。

(1) もし自衛隊が憲法明記されたら、何が変わるのか。

- ・9条が残されても、新しい方の9条の2が優先され、書き換えと同じ。「国及び国民の安全を保つために必要な措置」として、**無制限の集団的自衛権の行使など**、戦争ができる国に。
- ・国民投票による初めての憲法上の国家機関が「自衛隊」になることで、強い民主的な正当性を与えられてしまう。⇒自衛隊の配備・活動の拡大、防衛費の増加、軍需産業の育成、武器輸出の推進、自衛官募集の強化、国防意識の教育現場での強制、学問技術の協力要請⇒**国防国家へ変貌**
- ・**国防が憲法上、新たな「人権制約の根拠」**に⇒思想良心・信教・表現の自由、財産権への制約。苦役からの自由(憲法18条)も制限され、**徴兵制が可能に**
- ・国旗国歌法制定時(1999年)も、国民に義務を課さないと言ったが、今は日の丸・君が代は教員には職務命令で、従わないと処分される。自衛隊の明記で、軍備増強・戦争反対などの発言へも「自衛隊に失礼だ」「非国民、売国奴」など感情的な言葉が飛び交う、言葉狩りを恐れ、自由な発言を恐れ、今以上に委縮した社会になる。
⇒結論：自衛隊の明記は、9条の全面的廃止と同じ。
災害救助で頑張っている自衛隊がかわいそうという感情論に流されてはならない。

(2) 現在の憲法審査会での議論

- ・自民党、公明党、維新の会、国民民主党の、改憲案はバラバラで、24年9月の岸田首相の任期までに案をまとめるのは困難なため、「**緊急事態条項**」(主に議員の任期延長を理由)に絞ろうとしているが、本来は戦争時を前提にして市民の自由を制限できるもの。批判を避け、お試しの言い始めたが、**800億円の税金を無駄にするもの**。※立憲民主党が野党第1党なので、改憲派の暴走を止められている。野党第1党は尊重される立場にあり、これが変わると、歯止めが効かない。

(3) 国民投票法について

- ・国民投票で審判を下せば良いのではという考えは甘い。最低投票率・絶対投票率の定めがないため、少数による改憲の危険。投票日15日前のCM、広告資金、事前運動などの規制がないため、市民が十分に考える時間もなく、イメージ戦略で押し切られる危険性大。手続きの公平性確保が必要。

3. 軍備の増強は本当に国民を守れるのか。くらしは守れるのか。

(1) 武器で平和を作るといのは迷信・・・中村哲医師（アフガニスタンで21年間支援活動）

「向こうに行って、9条がバックボーンとして僕らの活動を支えてくれる、これが我々を守ってきてくれたんだな、という実感がありますよ。体で感じた想いですよ。武器など絶対に使用しないで、平和を具現化する。それが具体的な形として存在しているのが日本という国の平和憲法、9条ですよ。それを、現地の人たちも分かってくれているんです。だから、政府側も反政府側も、タリバンだって我々には手を出さない。むしろ、守ってくれているんです。9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが、ほんとうの日本の強味なんですよ。」

(2) 戦後日本が78年間、戦争をしないでこれたのはなぜか。米軍のおかげか。

①米軍が駐留し、自国の軍隊を持つ国も複数あるが、日本以外は戦争を経験している。

日本は平和憲法をもとに、軍事衝突をとことん避けてきた。

日本は、北方領土や竹島、尖閣で紛争しても、一度も軍事衝突をしない平和外交を徹底。米軍のおかげではない。米国べったりの方が危険。

②9条による自衛隊への制約が、戦争に加担する事を防いできた。

アメリカの戦争に集団的自衛権があるために、タイやフィリピン、オーストラリア、ニュージーランドなどは多国籍軍として戦争に参加した。日本もベトナム戦争時に5万人の派兵を要求された。アフガン戦争、イラク戦争でも派兵を要求されたが、日本は憲法による海外派兵禁止の制約を守り人殺しをしないできた。9条が戦争加担を防いできた。

(3) 改憲派、楽観主義者のお花畑的考え。

①軍備を強めた方が抑止力増強になり、平和になるという改憲派は想像力が欠如している。

・攻められても原発は標的にならない。・軍事費が膨大にかかっても福祉に影響はない。・アメリカは自国の国益のために日本を犠牲にはしない・抑止力を高めたら相手は必ず従う。・・・

②私たちは戦争のことをどこまで知っているのか

・アメリカ海兵隊の新兵訓練の目的は「人を殺せるようになること」アメリカ帰還兵の自殺は戦死者以上。麻薬、犯罪、貧困、PTSD、うつ病に苦しみ続ける。

(4) くらしの課題は一杯。軍事費に充てる余裕などない。

くらしを良くすることにお金を使うべき。防衛費を5兆円増やす分では済んだ。ある。

①消費税10%⇒8%に ②年金一人当たり年12万円追加 ③公的保険医療の自己負担ゼロ

④子ども医療費無料化(5000億円) ⑤小中学校の給食費無料化(5000億円) ⑥大学授業料無償化(1.8兆円) 憲法13条(個人の尊重・幸福追求)や、憲法25条(国民生存権)を活かすことがたくさん。

4. 平和のためになすべきこと。私たち生協や市民ができること。

戦争の準備をすれば、戦争がやってくる。戦争の準備をさせないで「平和」を作っていく。

■平和とは暴力の不在 直接的暴力も構造的暴力もない社会をめざして日常の努力をする。

■武力を違法化して、使えないようにしていく世界をめざす。

■戦争を起こしにくいシステムをつくる。 ■人権や個人の尊厳を守る

平和を守る、環境を守る市民を作る。生協ができる教育や活動も沢山。個人の尊厳を大切にしない行為や制度に反対の声をあげていく。日々の積み重ね。

日本国憲法は、世界を平和にしていく理想。理想なくして現実には作れない。日本国憲法を変えることは(国民が望めば変えられるのだが、権力者側が変えたがるのは要注意。一時の熱気で変えてはダメ)、一国のことだけでなく、世界の進歩を逆行させる。戦争しない国という信頼を78年間維持してきた国だからこそ、世界平和のための仲介役にもなれる。

戦争に巻き込まれることを防ぐため、2015年の平和安全法制の「集団的自衛権」部分を廃止させる

※最後に、岩手県生協連で平和を守るため「9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会」などの事務局、安保案連3文書などへの反対声明や県議会請願、映画や芝居、選挙の際候補者アンケートをとって公表する、など多岐に渡った活動をしていることが紹介されました。

6. 感想より

◆講演はいかがでしたか？

- ・資料、お話、共に分かりやすかったです。どうしても平和や政治といった難しいテーマは敬遠しがちですが、関心を持って学んでいかなければならないと思いました。
- ・改憲は憲法9条を損なうものでないと聞くこともありますが、変らないのであれば、なぜ、変えることを提案する人たちがいるのだろうと思っていました。どこかに戦争をしたい人たちがいて、うっかりするとまきこまれてしまう恐さを感じます。知らないうちに自分たちの命や暮らしに影響ある事の恐ろしさを感じました。
- ・お話も資料も分かりやすく良かった。資料は活用できそうです。安保関連3文書は、閣議決定されてしまいました。とても腹立たしいと感じました。国の方向を決める事を国会で議論されることなく、決められた事にショックを受けた事を覚えています。
- ・「軍拡は必要なんじゃないか」という人に聞いて欲しい内容でした。国旗国歌法←初めて知りました。ここからの流れが怖すぎる。平和であって欲しいという願いに、なんとなく声を上げづらくなっているような風潮があるので、沢山の方に聞いて欲しいと思う内容でした。
- ・憲法9条がどれだけ日本を、私達を守ってくれたのか良くわかりました。憲法9条をなくす事は、戦争を始める準備をしていくことなので、なくして欲しくないという思いが強くなりました。防衛費にはお金をかけて欲しくないです。もっと日本で使うべき所に目を向けて欲しいです。
- ・資料がとても分かり易く、見やすく心に入ってきました。軍拡が進むのを止められるか、1人1人が考えて欲しい。台湾有事が起こってしまったのは遅いと思う。
- ・なるほどなあと思いました。個人的には、有事になった時に日本はどうするのかと思っていましたが、その前にやるべき事守るべきものは9条なのかなと思います。
- ・平和について、戦争について私達が声を出して行動する事の大切さを思った。
- ・安保関連3文書について詳しく知ることが出来ました。私たちが一緒に取り組む署名は頑張りたいと思います。
- ・お金の使い方が間違っていると思う。軍事費増は反対です。78年間戦争しない国がこれからも平和な国であり続けるために憲法を変えることがあってはならない。
- ・とても分かり易かったです。何もしない事は、受け入れる事になります。反対なら反対と声を上げる事が大切だと思います。戦後78年守られて来た平和をなしくずしにする憲法改定には、賛成できません。
- ・逃げ切り世代です。今日の講演を聞いてまだまだ、私に出来る事があるのだと思いました。請願署名には協力していきます。2月のつどいとか、これからの自分の委員会でも今回の講演の話をお知らせしていきます。
- ・資料がとても分かり易かったです。三菱重工が戦闘機を作る事を宣言したり、日本に弾薬庫を130庫作ることだったり、私の知らない事を知り戦争の準備がされている事に心が苦しくなります。吉田さんが言われるように組合員に訴えていく事、色々な方々に広め伝えて行く事が必要だと感じました。
- ・「平和安全法制」が閣議決定された時のニュースが聞いた覚えがあるが、深刻に考えることなく来てしま



講師の吉田敏恵氏

った。今、話を聞くと恐ろしい状況になっている。戦争できない国にもどるようにしなければならない。

- ・話しの内容は私にも分かりやすく、自分は平和な国に生まれてこれで良かったなあ〜と改めて思いました。復興特別所得税・・・2.1%上乗せの1%が軍事費に回されると聞いてびっくり・・・オスプレイ・・・の意味が分かりゾッとしました。中村哲医師の映画を観たいと思いました。
- ・資料にもとづき分かりやすく聞けた講演でした。平和を守るために行っている岩手県生協連も素晴らしいです。
- ・分かりやすい説明で、とてもよく理解できました。軍事費より、国民の生活に税金をまわして欲しいと思いました。
- ・ニュースやテレビだけの情報だと、こま切れでしかなかったのですが、今日は順を追って説明して下さったので、良く分かりました。正しい理解と正しい情報が必要だと思いました。時間が足りなかったかな。



コープあおもり本部集会室で開催された講演会

- ・とても重く難しいテーマですが、答えは一つで「世界平和、戦争はぜったいにダメ」
- ・数日前に環境の講演で、人間は学ぶ生き物だから、世界戦争は起きないと信じているという事を話していましたが、その言葉を思い出しました。一人一人が同じ方向を見れば戦争という言葉はなくなるのでは・・・。とても分かりやすく、今の現実等も知ることができたし、関心を持ち自分達にできる事を考えていかなければと思いました。
- ・分かりやすく説明していただき、軍事費の増額、改憲、もっと知ろうとしないと知らぬまにどんどん変わってしまうということ。もっと勉強しないといけないですね、反省です。
- ・とても分かりやすい資料と講話をありがとうございました。又、優しい声がとても聞きやすかったです。有権者の2割の得票数で今の自民党政権ができています。パーティ券のキックバックで政権はゆれていて、自民党はダメだろう解散しても誰ももう自民党には入れないだろうと云われています。ささっと退場してもらって、次の政権がこの法案を廃案にしてくれるものと少しばかりの希望をもっています。
- ・アメリカの若者達が日本を守る為に命を捧げる事はないと思っている。自国は自国民で守るべきだと思っている。改憲については70数年前に戻って論議を始めるべき。話し合いで解決できる唯一の国(日本)でありたいと思うが、お花畑の中にいる日本人を否定できる材料は、今日の日本人に見出せずにいる。情報戦になるこれからは、平和を祈る一国民でありたいと思う。
- ・吉田さんの説明がとても分かりやすかったです。平和安全法制が強行され、安保関連3文書が閣議決定されたということも理解できました。「他国に脅威を与えるような攻撃的な兵器は持たない=武力の威嚇をしない」ものだったのが、敵基地攻撃能力により今まで海外派兵されていた自衛隊も攻撃する可能性があると感じました。楽観主義者の考えでは、兵士もちろん人間です。その人間を自国の利益のために振り回されるのは国民のためではないと強く思いました。増税に関しても今でさえ、税金の使い方に疑問を感じるのに軍事機密のために国民が用途をチェックすることができないのも納得いきません。国民のためではなく国の利益のため改憲しようとしていると思いました。
- ・平和=暴力の不在は誰もが思っている事だと思います。それにも関わらず、大軍拡が進む現在の日本の状況について矛盾を感じない人が多い事が残念です。「敵を作らず、平和な信頼関係を築く事が一番の安

全保障だ」という中村医師の言葉が広まって欲しいと思いました。



◆講演を聞いて、今後周りの方に伝えたいことがありましたらご記入ください。

- ・今まで知っているようで、よく知らなかった単語の意味や、現状論議がどこまで進んでいるのかなど、私自身今回初めて学んだことを周囲にも伝え、知識を深めたいと思います。
- ・知らない、興味がないということは、自分たちの命や暮らしを壊す可能性もある怖い事だと思います。何を判断するかは、正しい情報や事実を知る事からだと思います。憲法だけでなく全ての事にいえることだと思います。
- ・なぜ憲法に自衛隊を明記したら大変な事になるのかをまず知らせていく。何も変わらないのは大うそであることを。平和の準備を私達生協人はしていきましょう。
- ・“自衛隊がかわいそう”は間違いで9条改憲はその方達に人を殺させる道になる、という事を話していきたいと思います。
- ・いくら働いても防衛費に税金をもっていかれたら、ますます日本でくらす国民は苦しい生活（増税、物価高）を送らなければならないという事を伝えたい。だから軍事に力を入れて欲しくないということです。
- ・無関心ではなく、関心を持って戦争はダメだと声を上げていこうと思いました。9条が日本を守っている事。政治への監視。
- ・9条の大切さと、政治の方はズカズカと私たちの暮らしに入ってくることを伝えたいです。
- ・署名の協力を多数の人にしてもらいたいと思いました。
- ・来年からは委員会で、今日聞いた事を広めて行きたい。9条を守る大切さ。9条が全くなくなればどう変わってしまうのか。
- ・分かりやすい言葉で平和の話、聞きやすく家族や身近な人に伝えたい！
- ・国民投票法について、知っているつもりでしたが、初めての憲法改憲の国民投票がもつ重要さを考えさせられました。この事を伝えることが出来たらと思います。
- ・学ぶ事の大切さと憲法9条の事について考えてみたいと思います。無関心でないよう少しでも周りの人に話してみたいです。・・・平和について、国の考え方についてなど。
- ・つどい学習会でも、話して行こうと思います。
- ・今回の資料、つどいの資料などを活用し平和である事、命と暮らしを壊す大軍拡と、安保3文書を自分も学びながら伝えていけるようにしたい。
- ・とても、まとめられている内容であった。自分の不覚さを恥じる。軍備が次々と進められていることが怖ろしい。
- ・憲法9条は守っていききたいと思います。6月の国民平和大行進に時間があれば参加したいです。
- ・逃げ切りと言われない様、平和のための準備会話？意識して言えたら良いと思った。
- ・憲法は改正してはいけません！！
- ・平和の大切さを伝えていききたいと思います。
- ・今の日本の状況や政府の言いなりにならないための正しい情報を伝える。自分達の子供達のためにも平

和憲法を守る活動をする「平和の準備」を！！

- ・日本が世界の先頭に立って戦争をしてはならないこと、次の世代未来へ伝えていかなければならないのだと。
- ・これから安保関連の署名運動が始まりますが、この中身の問題点を伝えていけばいいのでは。
- ・政治について、もっと知ろうとすることが大事だ。平和のために。
- ・いろんな媒体も使いながら伝えていきたいと思います。
- ・政治に関心がなくても、戦争の準備はさせない。平和について考えてもらおう。
- ・78年間、日本が戦争をしなかったのは憲法9条による自衛隊の活動への制約があったからです。しかし、改憲されることによってまた過去の悲しい思いを繰り返すことになります。国民の生活だけでなく命まで奪う権利は政治にはないと思います。これ以上の改憲がされないよう、周りの方に伝えていきたいと思います。
- ・国の方針やアフガニスタンでの状況などを伝えていきたい。署名活動や街宣なども重要な活動であることを改めて実感しました。
- ・政治に関心を持ち、選挙の投票率を上げたり、行動を起こす事がやはり重要だと感じました。